JYMGメールマガジン　　[No.0:準備号]　2009年11月5日

今年も残すところ、二ヶ月余りとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？ながらくお待たせした
JYMGメールマガジン、やっと発信の準備ができました。先ず準備号としてテスト配信いたします。
よろしくお願いいたします。
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
「吉村順三記念ギャラリー」小さな建築展　第18回は
今週土曜日7日から「ソーラーハウス」展を開催します。
★★★小さな建築展　第18回★★★「ソーラーハウス」展
11月7日（土）から12月13日(日)までの各土曜日・日曜日　午後1時～6時まで開催いたします。
〇ソーラーハウス
この家は1980年に四国に建てられた。ようやく太陽熱の利用がエネルギーセイヴィング(省エネ)に
興味を持つ人達の間で、話題に上るようになった時代である。
吉村がこの家の設計を依頼された時に、クライアントと話をしながら、目を輝かして居たであろうことが
想像出来る。クライアントを送り出して直ぐ、「君、ソーラーハウスを頼まれたけど、やるかい？」と言った。
私はソーラーのことも分からないままこれは面白そうだと「ハイ、やります」と言うと、吉村は依頼主の
ことを話し始めたのである。
この時すでに吉村は、AIAの機関紙でソーラーエネルギー利用の知識を得ていたと思われる。
吉村は、何時も誰もやったことの無いことをやりたいと考えて居るのであった。また 誰かが
やっていても、もっと何か違う良いものが有るのではないかと、少しでも良いものを それも さり気なく
造ろうと 思いを巡らして居たのである。
設計に入る前に先ず敷地を見に行こうと、2月の寒い日に吉村と共に四国に行った。・・・・・・・・・・・・
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
南側の片流れの屋根全面に100枚のソーラーコレクターのパネルを設置し、夏期には冷暖房・給湯の
75%、冬期でも 55%をまかなうよう計画した。このシステムを助けるために、下層階の北側は地中に
埋め、外壁は外断熱とし、深い庇、開口部には襖を設け、ヒートロスを極力抑えている。各開口部の
ガラス戸・網戸・障子・襖は壁の中に全て収納するが、開口部を枠なしとし、壁が回り込むディテール
とした。　　（担当：平尾　寛）
■展覧会について詳しくは→http://www.sepia.dti.ne.jp/jymg/
★★★吉村順三記念ギャラリーからのお知らせ★★★
　　■西落合の家見学会のご案内■
吉村順三が50年前に設計した小住宅、西落合の家（担当　奥村まこと）昭和32年（1957年）竣工が、
この11月に解体されることになったのですが、現オーナーの　ご厚意で、解体前に公開して下さること
になりました。
〇公開日
11月7日（土）　11月8日（日）の二日間　　時間は　11時～16時
所在地　：　東京都新宿区西落合　　案内図-----略-----
当日は今後の工事を請け負ったハウジングメーカーが受付を行っておりますのでその案内に従って下さい。
■■■■■■■■■
※このメールに対する返信では
当事務局へのメールなどは、受付できませんのでご注意下さい。
■この電子メールは
〈JYMGメールマガジン〉にご登録いただいた方にお送りしています。
■詳しい情報は吉村順三記念ギャラリーホームページへ
→http://www.sepia.dti.ne.jp/jymg/
■JYMGメールマガジンの解約ご希望の方は
http://nyain.jp/cgi-bin/jymg/mailmagazin/m_mmreg/mmdel.cgi
■メールアドレス変更の場合は、一旦解約し、新たに登録を行ってください。